保健医療学部　学科編成について

医療の複雑化、価値観の多様化により社会構造が変化する中、保健医療学部では、医系総合大学としての本学の特色を活かすとともに、その価値を高め、専門領域の深化を図るための新たな創造を目指しています。

そのゴールのひとつとして、リハビリテーション領域の様々なスペシャリストの養成を行い、多様化した個人や社会のニーズに対応できる優れた医療人を育成するため、既存の理学療法学科と作業療法学科を改組し、令和５年４月にリハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）として統合する準備を進めています。

◆ 新学科設置・再編　構想

【現行】
- 保健医療学部
  - 看護学科
  - 理学療法学科
  - 作業療法学科

→

【改組後】
- 保健医療学部
  - 看護学科
  - リハビリテーション学科
    - ● 理学療法学専攻
    - ● 作業療法学専攻

令和４年春の叙勲
小出 良平 名誉教授　瑞宝中綬章
河本 禮子 氏　瑞宝単光章　を受章

令和４年春の叙勲受章者が４月29日に発表され、小出良平名誉教授が瑞宝中綬章、河本禮子氏が瑞宝単光章をそれぞれ受章した。

内閣府では、春秋叙勲として、年２回（４月29日と11月３日）、各界の功労者に対して勲章を授与している。瑞宝章は、公務等に長年にわたり従事し、成績を上げた者に国から授与される。

小出名誉教授は、昭和48年３月に本学医学部を卒業、昭和53年４月に眼科学教室に入局後は、同主任教授、昭和大学病院附属東病院長、医学部長等を歴任し、平成25年７月から令和元年７月まで学長を務めた。この間、医学の教育・研究・診療の発展に努めるとともに、長年にわたり大学の発展に尽力した功績が評価され、このたびの受章となった。

河本氏は、昭和51年５月に昭和大学病院に入職後、主に小児看護・新生児看護に従事し、現在の同院総合周産期母子医療センター（ＮＩＣＵ）における看護の基盤の構築に大きく貢献した。その後も、看護婦長（看護師長）、平成18年３月からは昭和大学附属烏山病院の看護部次長として看護師の教育を行い、看護管理の確立・強化に尽くした功績が評価され、このたびの受章となった。

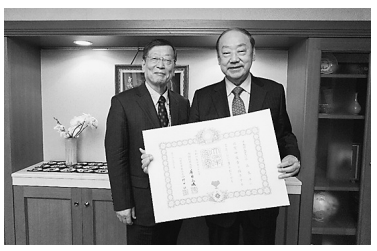
コロナ禍のために皇居での伝達式は中止となり、天皇陛下に拝謁する機会は叶わなかったが、５月25日、旗の台キャンパスにおいて、小口勝司理事長から勲章が伝達された。

【小出良平名誉教授のコメント】

今回、瑞宝中綬章の栄誉にあたり、身に余る光栄であり感激しております。これもひとえに皆様のご支援とご指導の賜物と深く感謝申し上げます。今回の受章は、昭和大学の社会に対する貢献が認められたものと考えております。今後もますます精進し、社会に貢献する医療人の育成に寄与して参る所存です。

【河本禮子氏のコメント】

昨年８月、叙勲候補のお話をいただき、真夏の夢か冗談かと思いました。今春に現実のものとなり、大変栄誉ある人生のご褒美に感激しています。思い起こせばＮＩＣＵで１,０００ｇ未満の低出生児と夜通しの病との戦い、朝日が差し込む時間を迎えるたびに命が守れた喜びと安堵、誕生して間もないそれぞれの児の個性を感じた日々でした。看護管理者となってからは、管理や教育の分野に携わり後輩たちの育ちを見つめさせていただきました。このような仕事の醍醐味の機会を与えてくださったことに感謝し、昭和大学のご発展を祈念しています。


小口勝司理事長、小出良平名誉教授

小口勝司理事長、河本禮子氏

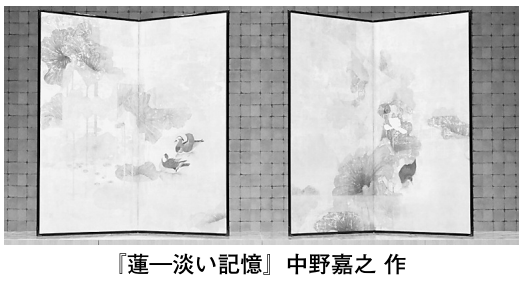
上條記念館に日本画が寄贈

５月31日、芳山堂（所在地：東京都千代田区）の久保泰助氏より日本画『蓮―淡い記憶』が寄贈されたことをうけて、同氏ご子息である久保聡一郎氏へ感謝状を謹呈した。

寄贈された日本画は、上條記念館の緞帳の原画を描いた日本画家・中野嘉之氏（多摩美術大学名誉教授）の作品である。二曲一双の屏風に描かれ、箔の装飾も施された見事な作品で、贈呈式での鑑賞で列席者から感嘆の声が聞かれた。

寄贈品は上條記念館内にて順次展示される予定。

感謝状贈呈


『蓮―淡い記憶』中野嘉之 作

緞帳原画と中野嘉之氏
（多摩美術大学 名誉教授）

看護師募集活動へのご協力について（お願い）

平素は大学および附属病院の運営にご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いていない状況ではありますが、令和５年度は一般病棟も稼働が向上することが予想されますので、大幅に看護師の採用を進めていきます。更に、今後は各附属病院にe-ICUの拡大、急性期病床拡大ならびに診療体制の充実を図るためには、例年以上に看護師を採用する必要があります。そのため、今年度は新卒・既卒の採用試験回数を増やし、試験期間も延長していますので、皆様のお知り合いで、就職、転職をお考えの方がいましたら、是非ご案内いただきますようお願い申し上げます。

理事長　小　口　勝　司

連絡先：
統括看護部　TEL：０３－３７８４－８６４６
FAX：０３－３７８４－８２２２
E-mail：t-kango@cmed.showa-u.ac.jp　（採用担当：山口）

昭和大学新聞

学校法人　昭和大学
発行人　小口勝司
電話（3784）8000　〒142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円　毎月1回発行

8月号の内容

1面
- 保健医療学部 学科編成について
- 令和４年春の叙勲 小出良平名誉教授、河本禮子氏が受章
- 上條記念館に日本画が寄贈
- 看護師募集
2面
- 認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル開講式
- 大学院留学生WelcomeCeremonyを開催
- 早瀬久美さんがデフリンピックで銀メダルを獲得
- 優秀サークル表彰式を開催
- 就任のお知らせ
- 昭和大学サポート寄付金寄付者氏名
3面
- 夏期スポーツ大会壮行会
- 冬季北京五輪大会アルペンスキー日本代表-SNOW JAPAN-に帯同して
- 高山植物保護活動に医学部生が参加
- 第31回昭和大学学士会シンポジウムのお知らせ
4面
- 富士吉田キャンパス寮祭
- 昭和大学リカレントカレッジ活動報告
- チャリティーバザー物品ご寄付のお願い
- 昭和大学新聞リニューアルのお知らせ

〔問い合わせ先〕
【本紙について：総務課大学広報係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付について：企画課】
03-3784-8387
【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】
03-3784-8022（旗の台）
0555-22-4403（富士吉田）
045-985-6503（横浜）
03-3784-8026（入学支援課）

医学堂書店
品川区
旗の台
電話(03)
3783-9774

認定看護管理者教育課程 開講式
―ファースト・セカンドレベル―

２０２２年度認定看護管理者教育課程のファーストレベルおよびセカンドレベルの開講式を５月20日と６月24日、オンラインで開催した。

同課程は日本看護協会が資格認定を行っている制度で、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有する看護師を育成するために、「ファースト」「セカンド」「サード」３つの教育課程が実施されている。本学は全国の大学に先駆けて認定看護管理者教育機関として認定されており、３つの教育課程を実施している大学は本学を含め３校のみである。

ファーストレベル開講式では、小川良雄リカレントカレッジプリンシパルが「新たな仲間と繋がり、討論を深め、学ぶことは楽しいことです。シラバスにある『論理的な文章の書き方』はまさに人に理解してもらえる伝え方を学ぶ貴重な機会となります。開講期間中、ぜひ健康に留意し頑張ってください」と告辞を述べた。

告辞：小川良雄プリンシパル

セカンドレベル開講式では、増田千鶴子統括看護部長が「忙しい現場の中、業務に忙殺され、なかなか考える時間を持つことが難しい環境かと思いますが、セカンドレベルを受講している間に、深く考えて、次の実践につながるような学修ができることを祈っています」と祝辞を述べた

オンライン開催の様子

大学院留学生 Welcome Ceremonyを開催

５月24日、上條記念館冨士桜において、令和４年度大学院留学生 Welcome Ceremony を開催した。

令和２年度、令和３年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で留学生を受け入れることができなかったが、今年度はフィリピン、ベトナム、マダガスカル、メキシコ、モンゴル、ルーマニア、ならびにレバノンから計８名の大学院留学生を受け入れ、すでに病院や研究室での研修を始めている。

セレモニーでは、久光正学長による挨拶の後、留学生らは受け入れ先の講座や診療科の教育職員と共に、一人ひとりが英語や日本語などを交えて全員の前で挨拶をした。

早瀬久美さんがデフリンピックで銀メダルを獲得

昭和大学病院薬剤師の早瀬久美さんが、５月にブラジルのカシアス・ド・スルで開催された第24回夏季デフリンピック競技大会に出場し、マウンテンバイク・女子クロスカントリーで銀メダルを獲得した。

早瀬さんは２０１３年・２０１７年の夏季デフリンピックでも銅メダルを獲得しており、オリンピック・パラリンピック併せて自転車競技として、初の３大会連続のメダル獲得という快挙を成し遂げた。

デフリンピックは聴覚に障害のある人の国際総合競技大会で、オリンピック・パラリンピックと同じく４年に一度開催される。

〈早瀬久美さんのコメント〉

日本選手団には選手としてだけでなくメディカルチームとしてアンチ・ドーピングに関するアスリートサポートを行いました。選手として銀メダルを獲得し、最年長での３大会連続メダル獲得は多くの女性アスリートからも「大きな励みとなった」と言われました。今後も国内・海外とも性アスリートをより増やし競技環境をより良くしていくよう、微力ながら頑張っていきたいと思っています。

早瀬久美さん（左）

就任のお知らせ（7月12日 理事会承認）

昭和大学藤が丘病院集中治療科診療科長

佐藤　督忠

現：医学部集中治療医学講座担当　准教授
（勤務地：昭和大学藤が丘病院集中治療科）
任命日：令和４年７月12日

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

学校法人昭和大学奨学基金への寄付
【同　窓】三邉　武彦 様(医学部・76回生)
教育研究協力資金への寄付
【同　窓】髙野　祐一 様(医学部・75回生) / 鈴木　俊一 様(医学部・62回生)
【父　母】小林　堅一郎 様 / 下河邊　宏一 様 / 医療法人　光翔会 様
昭和大学病院への寄付
【一　般】花の会ピッコロ 様

優秀サークル表彰式を開催

６月３日、令和３年度優秀サークル表彰式および令和４年度新規公認サークル認定通知授与式を旗の台キャンパスで開催した。優秀サークルとして４サークルが表彰され、小口勝司理事長から表彰状と金一封が贈呈された。また、新規公認サークルとして10サークルに認定通知が授与された。

昭和大学職員公認サークルは、種々様々な学内交流を通じて、職員同士が職種を越えて親睦を深めることを目的に、平成23年度に設けられた。現在は、76サークルが認定され、活動している。

【令和３年度　優秀サークル】

サークル名	活動内容
楽曲研究会	クラシック音楽研究
旗の台ガーデニングサークル	ガーデニング
ミュー研	舞台鑑賞
メンタル・チューニング・Lab.	楽曲演奏

【令和４年度　新規公認サークル】

サークル名	活動内容
ASHULA GOLF	ゴルフ
Among us	オンラインゲーム
Green Jacket	ゴルフ研究
ご当地グッズ開発研究会	グッズ開発
ご当地グルメ研究サークル	グルメ研究
テニスファーストの会	テニス
Ballet　Stretch	バレエ・ストレッチ
藤が丘ゴルフサークル	ゴルフ
FujiY. Badminton & Racquet Club	バトミントン・ラケットスポーツ
メンケン	麺の研究

優秀サークル表彰

記念撮影

多摩美術大学の学生が制作したデザインを採用しました。
販売者：昭友商事（株）　03-3784-8280

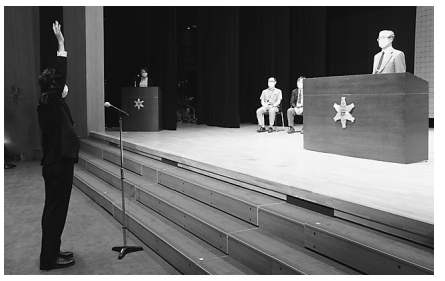
生協は学園生活のパートナーです
univ. CO-OP
昭和大学生活協同組合
旗の台　3788-2322(内線)8268　アミ 3785-9729(内線)8369
吉田 0555-23-8505　洗足 3787-4432　横浜 045-985-9624

夏季スポーツ大会壮行会

７月４日、第25回夏季スポーツ大会壮行会を上條記念館で開催した。新型コロナウイルスの感染拡大により２０１９年を最後に開催が見送られてきたが、東日本医科学生総合体育大会・全日本歯科学生総合体育大会など主要な大会が開催されることを踏まえ、３年ぶりの壮行会となった。

はじめに、本学職員で女子アイスホッケー日本代表監督の飯塚祐司氏と女子アイスホッケー元日本代表の獅子内美帆さんが「女子アイスホッケー日本代表、２０２２北京オリンピックへの挑戦」と題した講演を行った。

壮行会では久光正学長をはじめとする本学関係者が、各大会を目前に控えた学生たちを激励した。続いて歯学部準硬式野球部の代表者が選手宣誓し、健闘を誓った。



大会に向けての抱負

Ｍサッカー部　キャプテン　永瀬　嵩門さん（医学部５年）

「やっと」というべきでしょうか。医学部にとって最も大きな大会である東医体の開催が決定しました。先輩方が参加したくてもできなかった大会に自分たちの代で参加できることはとても光栄なことであり、空白の期間では今まで紡いできた伝統をもとに部員一同協力して強いチームになっていきました。多くの人の様々な想いが詰まった今大会、僕たち昭和大学サッカー部はこの代で東医体ベスト４を目指します。

DPNr サッカー部　キャプテン　鹿島　達郎さん（歯学部５年）

我々 DPNr サッカー部は、８月に開催されるオールデンタルに向けて活動しています。目標としては優勝を目指しており、各学年定期試験や実習で忙しい中、限られた時間でいかに質の高い練習が出来るのかを日々模索しています。また、今回は新型コロナウイルス流行で２年ぶりの開催となっており、たくさんの方々の協力がある上で部活や大会が行えることを改めて感じました。大会ではその感謝の気持ちをピッチ上で表現できればと思います。

陸上競技部　主将　下島　颯太さん（医学部４年）

2019 年度の最後の大会では、男女総合優勝という輝かしい成績を収めることができました。しかし 2020、2021 年度の２年間、大会や普段の部活動も行えない状況になってしまい、とても悔しい思いをしました。

本年度は４月から本格的に部活動が再開し、部員も部活動ができる喜びを感じながら、毎回の練習に励んでいます。今年もお世話になっている OB・OG の先生方や応援してくださる方々のご期待に応えられるよう、部員一同精一杯頑張っていきたいと思いますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染急拡大に伴い、全日本歯科学生総合体育大会は7月26日に中止が決定し、東日本医科学生総合体育大会の開催については各部門の判断に委ねられることになりました。

第24回冬季オリンピック北京大会
アルペンスキー日本代表―SNOW JAPAN―に帯同して

医学部整形外科学講座　准教授
（横浜市北部病院　外科系診療センター　整形外科）
藤巻　良昌

このたび２０２２年２月に中国北京で行われた第24回冬季オリンピックにおいて、スキー競技担当ドクターとして帯同する機会を得ましたので報告致します。

本大会は東京２０２０に続き新型コロナウイルスの世界的流行という状況下で行われる２度目のオリンピックとなり、選手もスタッフも感染予防には厳重な注意を払って臨みました。幸い期間中に選手およびスタッフに陽性者を出すことなく過ごす事ができましたが、ヨーロッパから中国入りした選手1名が機内での濃厚接触者認定を受けてしまうというハプニングがありました。選手村内の別棟で個室隔離となり食事もスタッフが運ぶという体制でしたが、部屋にはエアロバイクなども用意され、コンディショニングや診察のために医師やトレーナーは入室出来、リフトに乗ってゲレンデでの練習は許可されました。

日本人選手のアルペン競技出場枠は女子2名（ＧＳ：大回転、ＳＬ：回転）と男子1名（ＳＬ：回転）のいずれも技術系種目で、各自出場する競技日程の一週間ほど前に入村してコンディションを整えながらレースに出場します。私も期間中は選手・コーチ・トレーナーとともに練習に同行し、何気ない不調もいち早く察知し相談しやすい雰囲気を作れるように心がけました。練習滑走中に転倒して膝に水が溜まってしまった選手に対しては、選手村の診療所（ポリクリニック）と交渉を行い当日のうちにＭＲＩを撮影してもらいました。靭帯に損傷はないものの骨挫傷を認めたため、選手自身の意思とコンディションを図りながらその後の練習量を調整し、持参した医療機材を用いて穿刺などの対応を適宜行うことで、無事予定された競技に出場し完走を果たすことができました。限られた医療資源での対応を求められる海外の大会ならでは環境の中で、トップアスリートをサポートするという大変貴重な経験をする事ができました。

このような長期の出張を許可して頂きました昭和大学、稲垣教授、川崎教授、門倉病院長、医局スタッフほかすべての皆様に心より御礼を申し上げます。

完走してガッツポーズの選手と、膝の無事を喜ぶ藤巻医師

高山植物保護活動に医学部生が参加

本学高山植物保護サークル（代表：木内祐二副学長）の活動の一環として、日本高山植物保護協会（ＪＡＦＰＡ）が推進している高山植物保護活動に、２名の医学部生（６年：宇野裕喜さん、５年：香川直輝さん）が参加した。今回の活動は、高山植物保護の研修を兼ね、三ツ峠（１，７８５ｍ、山梨県都留市）で６月11日・12日に行われた。

活動報告

「あなたがみている〝自然〟、本当に自然ですか？」

医学部６年
宇野　裕喜（白馬診療部）

平敦盛の羽衣をその名前の由来としたラン科植物、アツモリソウ。バブル時代から続く盗掘、鹿の食害、テンニンソウによる植生の単一化により特定国内希少野生動植物種に指定されています。私たちが参加したのは、富士吉田キャンパスから17km北に位置する三つ峠で、アツモリソウを守る日本高山植物保護協会の活動です。テンニンソウは根で複数の株が繋がり、良い環境を独占し他の植物の居場所を奪います。今回はテンニンソウの伐採と、登山道ロープの補修を行い、自然保護と多様性について考える貴重な機会となりました。私たちが登る白馬岳にも多様な植物が咲いていますが、知識がない私たちはそれが本来の自然かわかりません。また、三つ峠が教えてくれたのは写真で植生の変化を残すことです。私たちは学生として5年間、医師として生涯にわたり白馬岳に登ります。写真で記録すれば、今年はあの花を見ていないと気づきます。その気づきこそ多様性を守る活動の第一歩になると思います。

「山岳における動植物すべてに慈愛をもって」

医学部５年
香川　直輝（白馬診療部）

６月11日と12日に三つ峠にて高山植物保護活動に参加させていただきました。私は毎年、白馬診療部活動で白馬岳に登らせていただいていますが、その際にあまり高山植物について考えたことはありませんでした。しかし、今回の高山植物保護活動を通して、植物保護の大切さを痛感しました。高山植物は山というあまりにも縛りがない中にあるため、乱獲などによって植生が失われる可能性が大いにあります。これらの植物を人の手で守っていくことで、植物、植生がいつか私達に本当の美しさを示してくれるのだと痛感しました。今後、高山植物だけでなく、山岳における動植物すべてに慈愛をもって接していきたいと思います。

最後にこのような貴重な機会を頂けたことに感謝し、今後もこの活動が後輩にも広がるように伝えていきたいです。

乱獲者や害獣の侵入を防ぐ柵の補修作業

第31回昭和大学学士会シンポジウム
COVID-19の疫学、基礎、臨床から考える今後の展開

開催形式：オンデマンド配信　　会　　期：2022年８月27日（土）～９月26日（月）　公開

1. 新型コロナウイルス感染症のウイルス学
　昭和大学医学部内科学講座（臨床感染症学部門）　教　授　時松　一成
2. COVID-19の疫学・臨床像　長崎大学病院呼吸器内科　講　師　山本　和子
3. COVID-19の治療・後遺症
　大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座　准教授　小宮　幸作
4. コロナ禍に対する昭和大学の取組
　昭和大学医学部内科学講座（呼吸器アレルギー内科学部門）　教　授　相良　博典

会期が近づきましたら、公開URLを昭和大学学士会ホームページにてご案内いたします。

富士吉田キャンパス寮祭

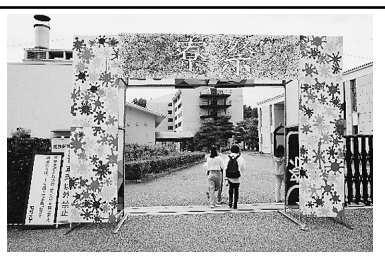
６月25日・26日の２日間、富士吉田キャンパスで寮祭を開催した。

今年度のメインスローガンは「Show it! Act it!」。「Show it!」は、バンド、有志、サークル発表を通じてありのままの姿を曝け出そう！「Act it!」は入寮以降の制限された生活で持て余したエネルギーを体育祭にぶつけてはっちゃけよう！という意味が込められている。

学生たちは力を合わせて、入学して２か月半という短い間に様々な催し物を企画し、準備を進め、ついに迎えた本番を存分に楽しんでいた。

25日には体育祭が行われ、大縄とびや玉入れ、綱引き、障害物競走、寮対抗リレーなど白熱した戦いが繰り広げられた。

26日には、感染対策を徹底した上で、模擬店、バンド演奏、演劇サークルによる公演など、学生手作りのイベントが盛りだくさんに行われ、最後はキャンプファイヤーと色とりどりの打ち上げ花火で締めくくられた。


寮祭2022 ～Show it!　Act it!～

模擬店 ～輪投げ～

寮祭の感想

寮祭実行委員長
医学部　長井 拓皇

富士吉田キャンパスで毎年開催される寮祭。寮祭がどんなものなのか、大学パンフレットの紹介ページにあるような内容しか知らないのは、みんな同じでした。実行委員長である私でさえ詳細を知らされることはありませんでしたが、見方を変えれば、過去にとらわれない自由な寮祭とも捉えることができました。

私の中でのここ富士吉田キャンパスは、寮の中は男子校女子校、寮を出れば共学のような中高の延長のようなものです。そのような中で私達の多くは、学生時代の修学旅行、部活の大会等、コロナ禍で多くのイベント・学校行事が奪われてきました。その奪われた青春をもう一度味わえるような寮祭にと、作り上げてきました。

今年の寮祭には、縁日のような模擬店、５号館全体を使ったお化け屋敷、終日開催の体育祭、数年ぶりに復活のキャンプファイヤーなど、新鮮なもの、懐かしのものも取り入れました。もちろん花火も打ち上げました。そんな、他大学では見られない富士吉田キャンパスならではの寮祭を皆さんに楽しめていただけたのなら、こんなに嬉しいことはありません。今回の寮祭に携わってくれた方々に重ね重ね感謝を申し上げます。ありがとうございました。

イベント部門長
医学部　秋山 颯一郎

このたび私は寮祭イベント部門長を務めました。部門の代表として寮生活ありきの部門員をまとめ、寮祭を実現させるのは非常に大変でした。また音響関連の会計では大きなお金が動くため、予算内で最高のものを作り上げようと精一杯尽力しました。

コロナ禍という異例の状況だからこそ例年通りいかないこともありました。ステージで発表する有志団体が集まり、寮祭に向け練習を開始するはずが、サークル活動停止や活動場所の不足により練習開始が大幅に遅れてしまいました。しかし、サークル長や実行委員長の働きかけにより徐々に準備を始めることができました。

有志団体の件に関しても音響設備に関しても、頼れる人が私の周りにいたからこそ成功させることができたのだと感じています。関係者の方々、部門員をはじめとする学生の皆さん、本当にありがとうございました。

最後に、今回の寮祭が皆様の最高の思い出になることを願っています。

模擬店部門長
医学部　洪 紫都乃

今年は食品を提供せずに模擬店を開くという異例の開催となり、その他コロナウイルスにより多くの制限があったものの、天候にも恵まれ、華々しい寮祭となりました。その寮祭を終えた今は、達成感を抱くとともに寂しさも感じる複雑な心持ちです。そして寮祭を通して、共に苦労を乗り越えた仲間とも言えるような友人と出会えたことが何よりも嬉しく、部門長を経験して良かったと感じています。

組織の長として部門員をまとめることはとても難しく、私の指示不足や情報共有不足で仕事の進行を滞らせてしまったことが度々ありました。仕事を支えてくれた幹部三人、部門員のご協力が無ければ乗り越えることはできなかったと強く思います。また私自身、激務で心が折れそうになることが多々ありました。それでも見守り支えていただいた方々のおかげで、模擬店部門長としての仕事を完遂することができました。

関係者の皆さん、部門員の皆さん、そして富士吉田キャンパスの学生の皆さん、本当にありがとうございました。

花火部門長
医学部　近藤 瞳

今年度の花火部門では花火だけではなくキャンプファイヤーも担当しました。

花火に関しては先輩方が残してくださった資料があったお陰で円滑に準備が進みましたが、キャンプファイヤーに関してはここ数年開催されていなかったため全く資料がなく試行錯誤の連続でした。木の組み立てから片付けまで一から考えなければならない事ばかりで、考えれば考えるほど疑問点が生まれ、寮祭に間に合うのか不安な気持ちでいっぱいでした。このような中でも部門員と力を合わせ、先生方や事務課の方など多くの方のご協力を頂きながら一つ一つ解決することで徐々に形が見え、無事成功裏に寮祭を終えることが出来ました。一から自分達で作り上げ、成功させることが出来た喜びは忘れがたいものでしたし、当日多くの学生が参加し楽しく盛り上がっている様子にそれまでの苦労が一瞬で報われた気持ちでした。寮祭に関わってくださったすべての方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

昭和大学リカレントカレッジ 秋期プログラム　講座紹介第２弾

７月１日より、秋期プログラムの受講生募集が開始され、続々とお申込みいただいております。全34講座が開講予定の秋期プログラムでは、専門的な知識の習得を目指す講座やフィールドワーク・ワークショップを行う講座など、多彩なラインナップを取り揃えており、昭和大学同窓生が講師を務める講義も開講予定です。今回は前号に引き続き８講座を紹介します。ご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

講座名	講師（敬称略）	申込締切
諸国名庭園探訪Ⅱ～百万石の古都金沢の庭～	鈴木　誠	9月11日（日）
病気平癒祈願と薬師如来像	小林　裕子	
オリンピックトレーナーと整形外科医から学ぶ！一生動けるカラダの使い方～怪我せず・痛めず・元気よく！～	曽我　武史 他	
CancerX	上野　直人 他	
医療現場のデジタルトランスフォーメーションを考える ～カルテを電子化してみよう～	中村　明央	
東京の庭園の魅力Ⅳ ～歴史と美を愉しむ～	鈴木　誠	
人生がハッピーになる 大人のためのオシッコ学	小川　良雄 他	
健康的なカラダ作りに役立つ東洋医学を学ぼう	砂川　正隆 他	

問い合わせ
昭和大学リカレントカレッジ事務室(03-3784-8143)
次号では引き続き秋期プログラム紹介と春期プログラムで行われた実地研修の様子を掲載します。

チャリティーバザー物品ご寄付のお願い

来たる10月8日(土)に、第62回学園祭(開催日：10月8日(土)～10月9日(日))企画の一環として「第30回 昭和大学留学生医療支援バザー」が開催されます。

バザー物品は、例年ご父兄の皆様のご協力が中心となっております。

この売上げは経費を除いて「留学生医療基金」に積立てられ、留学生の医療費の一部負担・国際交流会などに使われております。

今年も、ご父兄の皆様に物品ご寄付のご協力をお願い申し上げます。バザー用品のご寄付は、昭和大学生活協同組合が窓口として受け付けております。

ご協力の程、よろしくお願い致します。

昭和大学第62回学園祭実行委員会
委員長　木名瀬　涼子

※新型コロナウイルス感染症対策のため、衣類、雑貨等は全て新品・未開封品に限定させていただきます。
※食品は賞味期限が3か月以上先のものでお願い致します。
※感染症拡大により学園祭が中止になった場合、ご寄付いただいたものはこちらで処分させていただく形となりますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

● 締切日：10月５日(水)

送 付 先：〒142-8666　東京都品川区旗の台1-5-8
昭和大学生活協同組合　バザー係
問合せ先：03-3788-2322

昭和大学新聞リニューアルのお知らせ

昭和大学新聞は、令和４年９月号を以って現在の形式での発行を終了し、カラー印刷の冊子形式に変更して、令和４年11月に装いを新たに発行いたします。

形式変更に伴い、同窓生を含む学外への発送につきましては、令和４年９月号を以て終了といたします。ただし、ご希望の方には引き続き発送いたしますので、総務課大学広報係までご連絡ください。大変恐縮に存じますが、ご了承のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、昭和大学新聞は本学ホームページでもご覧いただけますので、是非ご利用ください。

《主な変更点》
・新聞形式から冊子形式へ変更し、紙面を増やします。
・モノクロ印刷からカラー印刷に変更し、紙面を見やすくします。
・発行回数を毎月(年12回)から隔月(年６回)に変更します。

【総務課大学広報係　連絡先】
TEL：03－3784－8059
Mail：press@ofc.showa-u.ac.jp　（担当：吉岡）